

川崎市立看護短期大学構内および周辺の植物を活用した授業の試み

飯島和子¹⁾

要 旨

身近な現象に関心・興味を持ち、その変化に気づくことは医療の現場で働く人々にとって重要なことである。そのような能力を習得するには体験が有意義であると考えられる。川崎市立看護短期大学（以下短大とする）は都市部に位置しており、周辺には住宅、工場などが多いが、公園や畑も見られ、緑地の面積は多い場所である。そのような立地条件を活かして生活科学の授業では短大とその周辺の植物観察を行なうこととした。授業のはじめに植物の特徴などについて説明を行った後、実際に植物全体、葉、樹皮、花などを観察し、短大とその周辺の特徴を表していると思われる植物を各自選択し、スケッチを行うように指示した。80人の学生が最も多く描いた植物は草本植物がシロツメクサ、木本植物がカツラであった。開花している植物や葉に特徴のある植物を描いた学生が多かった。小倉アベリア公園は名前の由来と考えられるアベリアが多数植栽されているが、この時期には花がついていないためか、スケッチの対象とした学生は少なかった。

キーワード：都市と環境、校庭、公園、野外観察、植物

I. 緒言

古谷庫造氏¹⁾は著書「理科における環境教育」の中で、環境教育の目標を「関心、知識・理解、態度、技能」の項目ごとに述べ、関心については、「①小さな自然にも大きな関心を持ち、自然のすばらしさやたくみに感動するようになる。②他人あるいは他地域の問題にも、自分とのかかわりでとらえるようになる。」としている。このようなことは医療従事者を目指す学生にとっても重要であると考えている。

川崎市立看護短期大学は都市部に位置しており、周辺には住宅、工場などが多い。しかし、その間には公園や畑も造られ、都市部としては緑地の面積は多い場所である。そのような立地条件を活かして、生活科学における「都市と環境」の授業では都市部の学校や公園の様子を見、そこに生息している植物について観察を行っている。何も無いと思っていた場所にも多数の植物が生育していることに気づき、その季節的变化に興味・関心を持って生活する学生が増加することを目指している。

II. 授業の展開

野外観察の前回の授業で、都市と環境の一例として、著者が調査を行っている東京都杉並区にある東京女子大学構内とそこに生息している動植物のスライド²⁾を見せた。

野外観察授業では、はじめに五感をみがくための体操を行い、小倉アベリア公園の名前の由来や短大構内の特徴を概観し、そこに生育している植物の特徴などについて説明を行った後、実際に植物全体、葉、樹皮、花などを観察した。観察場所は、草本植物については短大グラウンド（図1）、短大横道路沿い植えます内（図2）と小倉アベリア公園内（図3）、木本植物は小倉アベリア公園と短大横道路沿い植えます内とした。

観察後、短大とその周辺の特徴を表していると思われる植物を各自選択し、スケッチを行うように指示した。

III. 結果および考察

2008年5月の授業前に、著者が植物調査を行った結果、短大構内グラウンドでは28種の草本植物、アベリア公園では13種の草本植物と22種の木本植物、短大横歩道沿い植えます内では23種の草本植物と8種の木本植物の生育が確認できた。これらの94種の

1) 千葉県立衛生短期大学

図 1 短大グラウンドの周囲の植物 (2008 年 5 月)



図 2 短大横道路沿い植えます内植物 (2008 年 5 月)



図 3 -①アベリア公園 (2008 年 8 月)



図 3 -②アベリアの花 (2008 年 8 月)



植物を観察対象とした (表 1,2,3) ^{3) 4) 5)}。

学生のスケッチした植物は草本植物ではシロツメクサが最も多く 25 名、次いでニワゼキショウ 23 名、ハルジオン 16 名、セイヨウタンポポ 13 名であった。木本植物で最も多かったのはカツラ 18 名、次いでケヤキ 15 名、トチノキ 14 名、アベリア 9 名であった。草本植物については開花中の植物が選ばれ、木本植物については大木で葉の形に特徴のあるものが選ばれたと考えられる (表 4, 図 4)。アベリア公園には名称のようにアベリアが多数植栽されているが、開花時期が夏から秋であるため、この時期には花が見られないこととあまりなじみのない植物のためか、スケッチの対象とした学生は 9 名と少数であった。

今回の野外観察授業は 90 分の 1 回限りであったため、観察内容も植物の一部に限られた。観察場所が短大、アベリア公園、歩道などで、学生が毎日目に触れる機会のある場所であるため、通学時などに植物の芽吹きや開花などの季節変化に関心、興味を示す学生が増えることを期待できる。さらに、医療の

現場においても患者様についての気配りはもちろんのこと、周囲の自然現象にも関心を持つことができるのではないかと考えている。

今後は古谷庫造氏が環境教育の目標 1) として述べている「技能①環境の質や変化を、できるだけ科学的に測定、評価できるようになる。②環境問題にかかわる多くの事実を収集し、それから冷静に結論を下し、見通しを立てることができるようになる。」能力をつけるための授業と評価を実践していく計画である。

表 1 川崎市幸区小倉アベリア公園で見られる植物 (2008 年 5 月調査)

和名	学名	科名	備考
木本植物			
アベリア	<i>Aberia × grandiflora</i> (Andre) Reder	スイカズラ	
(ハナゾノツクバネウツギ)			
ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i> Makino	ニレ	
スダジイ	<i>Castanopsis sieboldii</i> (Makino) Htus. ex T. Yamaz. et Mashiba	ブナ	開花
トチノキ	<i>Aesculus turbinata</i> Blume	トチノキ	開花
カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i> Siebold et Zucc. ex Hoffm et Schult.	カツラ	
トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i> Aiton	モクセイ	
マテバシイ	<i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai	マテバシイ	
オオムラサキ	<i>Rhododendron × pulchrum</i> Sweet 'Speciosum'	ツツジ	開花
クコ	<i>Lycium chinese</i> Mill.	ナス	
ヒイラギナンテン	<i>Mahonia japonica</i> (Thunb.) DC.	メギ	
ヒイラギモクセイ	<i>Osmanthus × fortunei</i> Carriere	モクセイ	
シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H. Wendl.	ヤシ	
アメリカヤマボウシ	<i>Benthamidia florida</i> (L.) Spach	ミズキ	
草本植物			
ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> Willd. var. <i>maximowiczii</i> (Nakai) H. Hara	キク	
ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i> L.	キク	開花
イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i> Vahl.	イネ	
セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i> L.	キク	
ダリア	<i>Dahlia × hortensis</i> Guill.	キク	
ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i> (Thunb.) Gagnep.	ブドウ	
カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L.	カタバミ	
ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i> (Lour.) Merr.	アカネ	
セイヨウタンポポ	<i>Taxacum officinale</i> Weber ex F. H. Wigg.	キク	開花
イノコズチ	<i>Achyranthes bidentata</i> Blume var. <i>japonica</i> Miq.	ヒユ	
スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> L.	イネ	
アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i> L.	フウロソウ	
クズ	<i>Pueraria lobata</i> Thunb.	マメ	
オランダミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.	ナデシコ	
ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i> L.	キク	
コハコベ	<i>Stellaria media</i> (L.) Vill.	ナデシコ	開花
トネアザミ	<i>Cirsium nipponium</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Maim.) Kitam	キク	
ドクダミ	<i>Houtteynia cordata</i> Thunb.	ドクダミ	
シラン	<i>Bletilla striata</i> (Thunb.) Rchb. f.	ラン	開花
ホトトギス	<i>Tricyrtis hirta</i> (Thunb.) Hook.	ユリ	
コンフリー	<i>Symphytum × uplandicum</i> Nyman	ムラサキ	
オランダハッカ	<i>Mentha spicata</i> L.	シソ	

表 2 川崎市立看護短期大学横歩道沿い植えます内植物 (2008 年 5 月調査)

和名	学名	科名	備考
木本植物			
ソメイヨシノ	<i>Cerasus × yedoensis</i> (Matsum.) A. V. Vassil.	バラ	
オオムラサキ	<i>Rhododendron × pulchrum</i> Sweet 'Speciosum'	ツツジ	
トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i> Aiton	モクセイ	
サザンカ	<i>Camellia sasanqua</i> Thunb.	ツバキ	
コウゾ	<i>Broussonetia kazinoki</i> Siebold × <i>B. papyrifera</i> (L.) L'Her. ex Vent	クワ	
ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i> Makino	ニレ	
ニシキギ	<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold	ニシキギ	
ハルニレ	<i>Ulmus davidiana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehder) Nakai	ニレ	
草本植物			
ウラジロチチコグサ	<i>Gnaphalium coarctatum</i> Willd	キク	開花
チヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult.	イネ	
スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> L.	イネ	
イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i> (Brujin) Kitag.	タデ	
セイヨウタンポポ	<i>Taxacum officinale</i> Weber ex F. H. Wigg.	キク	開花
イノコズチ	<i>Achyranthes bidentata</i> Blume var. <i>japonica</i> Miq.	ヒユ	
オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> (L.) DC.	キク	
オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i> (Retz.) E. Walker	キク	
ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i> L.	キク	開花
ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> L. var. <i>echinospermon</i> (Wallr.) Hayek	アカネ	
ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i> L.	キク	
ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i> (L.) Medik.	アブラナ	開花
カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L.	カタバミ	開花
アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i> L.	フウロソウ	
ツメクサ	<i>Sagina japonica</i> (Sw.) Ohwi	ナデシコ	
オランダミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.	ナデシコ	開花
ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i> (Lour.) Merr.	アカネ	
タマガヤツリ	<i>Cyperus difformis</i> L.	カヤツリグサ	
コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i> Makino	ベンケイソウ	開花
ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i> Thunb.	ドクダミ	
タネツケバナ	<i>Cardamine scutata</i> Thunb.	アブラナ	開花
ヒメムカシヨモギ	<i>Conyza canadensis</i> (L.) Cronquist	キク	
カミツレ	<i>Matricaria recutita</i> L.	キク	開花

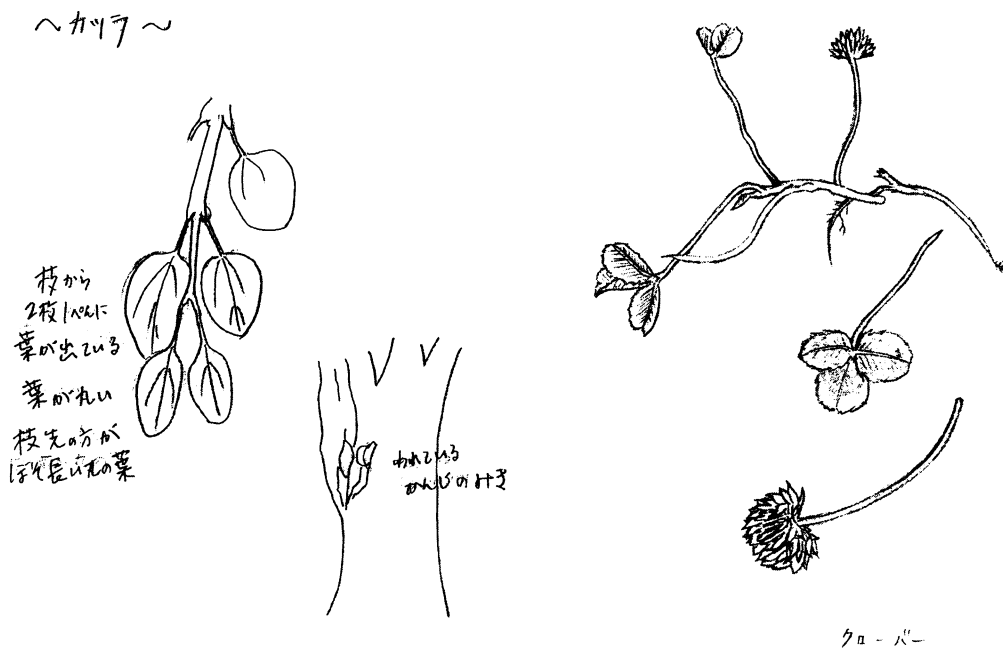
表 3 川崎市立看護短期大学グラウンドの植物 (2008 年 5 月調査)

和名	学名	科名	備考
草本植物			
ヒルガオ	<i>Calystegia pubescens</i> Lindl.	ヒルガオ	
スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> L.	イネ	
スギナ	<i>Equisetum arvense</i> L.	トクサ	
ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> Willd. var. <i>maximowiczii</i> (Nakai) H. Hara	キク	
セイヨウタンポポ	<i>Taxacum officinale</i> Weber ex F. H. Wigg.	キク	開花
ムラサキカタバミ	<i>Oxalis debilis</i> Kunth subsp. <i>cornbosa</i> (DC.) Lourteig	カタバミ	
タチヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i> L.	ゴマノハグサ	開花
ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i> (L.) Medik.	アブラナ	開花
ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i> (Lour.) Merr.	アカネ	
ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i> L.	キク	
ウラジロチチコグサ	<i>Gnaphalium coarctatum</i> Willd	キク	開花
カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L.	カタバミ	開花
イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i> L.	ナス	
コハコベ	<i>Stellaria media</i> (L.) Vill.	ナデシコ	開花
シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i> L.	マメ	開花
ミミナグサ	<i>Cerastium fontanum</i> Baumg. subsp. <i>vulgare</i> (Hartm.) Greuter et Burder var. <i>angustifolium</i> (Franch.) H. Hara	ナデシコ	
タチヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i> L.	ナデシコ	
ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i> L.	ケシ	
ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i> L.	シソ	開花
ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i> L.	キク	開花
カラスノエンドウ	<i>Vicia sativa</i> L. subsp. <i>nigra</i> (L.) Ehrh.	マメ	開花
(ヤハズエンドウ)			
オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> L.	オオバコ	
アズマネザサ	<i>Pleioblastus chino</i> (Franch. et Sav.) Makino	イネ	
キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) Brenth. ex Hemsl	ムラサキ	開花
オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i> (Retz.) E. Walker	キク	
ギンギン	<i>Rumex japonicus</i> Houtt.	タデ	
シロザ	<i>Chenopodium album</i> L.	アカザ	

表 4 学生がスケッチした植物 (2008 年 5 月調査)

順位	植物名	人数	順位	植物名	人数
草本植物			木本植物		
1	シロツメクサ	25	1	カツラ	18
2	ニワゼキショウ	23	2	ケヤキ	15
3	ハルジオン	16	3	トチノキ	14
4	セイヨウタンポポ	13	4	アベリア	9
5	ムラサキサギゴケ	5	5	サザンカ	5
6	オオバコ	1	6	オオムラサキ (ツツジ)	4
7	クズ	1	7	ソメイヨシノ	4
8	ニワホコリ	1	8	モチノキ	2
			9	ハナйкаダ	1
			10	トウネズミモチ	1

図 4 学生のスケッチ (カツラ、クローバー)



文 献

- 1) 古谷庫造. 理科における環境教育. 明治図書, 1978, 235p.
- 2) 杉並区環境清掃部環境課. 杉並区自然環境調査報告書 (第5次). 杉並区, 2008, 336p.
- 3) 岩瀬徹, 川名興, 中村俊彦. 野外観察ハンドブック 新校庭の雑草. 全国農村教育協会, 2007, 166p.
- 4) 岩瀬徹, 川名興. 野外観察ハンドブック 校庭の樹木. 全国農村教育協会, 2007, 166p.
- 5) 米倉浩司, 梶田忠. 「BGPlants 和名－学名インデックス」(YList)". (2003),
http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplamts/ylist_main.html}, (参照 2008 - 09 - 26)